



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 イーグル工業株式会社

コード番号 6486 URL <https://www.ekkeagle.com/jp/>

代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）鶴 鉄二

問合せ先責任者 （役職名）専務取締役経財本部長 （氏名）村田 良伸 TEL 03-3438-2291

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無： 無

決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	47,787	12.5	4,222	40.8	5,772	47.0	3,439	32.6
2026年3月期第1四半期	42,489	1.6	2,998	14.2	3,927	△17.7	2,593	16.8

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 5,879百万円（16.6％） 2026年3月期第1四半期 5,043百万円（△32.9％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	75.62	—
2026年3月期第1四半期	57.34	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2027年3月期第1四半期	233,627	145,653	58.0	2,963.41
2026年3月期	228,581	142,621	58.2	2,927.77

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 135,427百万円 2026年3月期 133,062百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	60.00	—	65.00	125.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		70.00	—	—	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

当社は、2026年10月1日付でNOK株式会社と株式移転による共同持株会社設立により経営統合を行う予定であるため、中間配当は70円とし、期末配当は現時点では未定とさせていただきます。

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	200,000	12.7	16,000	18.8	20,000	16.5	12,000	22.1	262.89

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

当社は、2026年10月1日付でNOK株式会社と株式移転による共同持株会社設立により経営統合を行う予定です。業績予想については、現在の当社組織を前提に算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期1Q	49,757,821株	2026年3月期	49,757,821株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	4,058,033株	2026年3月期	4,309,340株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2027年3月期1Q	45,486,764株	2026年3月期1Q	45,231,357株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により変動する可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、売上高は477億87百万円（前年同期比12.5%増）、営業利益は42億22百万円（前年同期比40.8%増）、経常利益は57億72百万円（前年同期比47.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は34億39百万円（前年同期比32.6%増）となりました。

主に一般産業機械業界向け事業、半導体業界向け事業における増収幅が大きく、前年同期対比で増益となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

〔自動車・建設機械業界向け事業〕

当事業は、為替換算による押し上げ効果もあり、当セグメントの売上高は230億19百万円（前年同期比1.0%増）となりました。引き続きEV・PHEV等のグローバル生産台数が伸長しており、サスペンション用ソレノイドバルブの販売が好調でありましたが、補器類の電動化を背景とした従来製品の販売減により、営業利益は3億62百万円（前年同期比42.3%減）となりました。

〔一般産業機械業界向け事業〕

当事業は、石油化学製品の競争激化を背景に東南アジア地域のプラント稼働率低下の影響が継続していますが、インドでの販売拡大により、当セグメントの売上高は106億75百万円（前年同期比17.8%増）、営業利益は18億1百万円（前年同期比68.3%増）となりました。

〔半導体業界向け事業〕

当事業は、AIデータセンター向けなどの高付加価値メモリ需要の拡大を背景に当社製品の販売も増加し、当セグメントの売上高は58億69百万円（前年同期比58.7%増）、営業利益は4億48百万円（前年同期は営業損失3億16百万円）となりました。

〔船用業界向け事業〕

当事業は、新造船需要を中心に好調を維持し、当セグメントの売上高は54億69百万円（前年同期比13.8%増）となりました。営業利益はプロダクトミックスの影響により、13億49百万円（前年同期比10.9%減）となりました。

〔航空宇宙業界向け事業〕

当事業は、防衛関連を含む航空機向け製品の需要が引き続き堅調に推移し、当セグメントの売上高は27億53百万円（前年同期比29.4%増）、営業利益は2億72百万円（前年同期比198.4%増）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

〔資産〕

当第1四半期連結会計期間末における資産は2,336億27百万円となり、前連結会計年度末に比べ50億46百万円増加しました。これは主に受取手形、売掛金及び契約資産が17億18百万円、投資有価証券が16億5百万円、商品及び製品が11億52百万円増加したことによるものです。

〔負債〕

当第1四半期連結会計期間末における負債は879億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億14百万円増加しました。これは主に借入金が20億26百万円増加したことによるものです。

〔純資産〕

当第1四半期連結会計期間末における純資産は1,456億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ30億32百万円増加しました。これは主に剰余金の配当により30億6百万円減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益を34億39百万円計上したこと及び為替換算調整勘定が18億90百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の事業環境及び当第1四半期連結累計期間の業績を踏まえ、2026年5月13日の「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表しました連結業績予想を下記の通り上方修正いたします。

半導体業界向け事業において、旺盛な需要を背景に販売が当初想定を上回って推移していることから、売上高及び利益は当初予想を上回る見込みです。その他の事業も概ね堅調に推移していることに加え、売上高については為替換算による押し上げ効果もあることから、連結業績は当初予想を上回る見込みです。

2027年3月期通期連結業績予想数値の修正（2026年4月1日～2027年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 188,000	百万円 12,400	百万円 15,800	百万円 9,500	円 銭 207.88
今回修正予想（B）	200,000	16,000	20,000	12,000	262.89
増減額（B－A）	12,000	3,600	4,200	2,500	－
増減率（％）	6.4	29.0	26.6	26.3	－
（ご参考）前期実績 （2026年3月期）	177,488	13,468	17,170	9,828	216.75

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,681	34,619
受取手形、売掛金及び契約資産	36,260	37,979
電子記録債権	6,441	6,726
商品及び製品	12,822	13,974
仕掛品	10,810	11,067
原材料及び貯蔵品	16,278	16,371
その他	9,264	8,748
貸倒引当金	△109	△111
流動資産合計	125,450	129,375
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	29,193	28,978
機械装置及び運搬具（純額）	18,854	18,396
その他（純額）	16,172	16,519
有形固定資産合計	64,220	63,893
無形固定資産		
のれん	51	46
その他	2,133	2,200
無形固定資産合計	2,185	2,247
投資その他の資産		
投資有価証券	22,138	23,743
その他	14,690	14,472
貸倒引当金	△104	△104
投資その他の資産合計	36,724	38,111
固定資産合計	103,130	104,252
資産合計	228,581	233,627

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,858	10,484
電子記録債務	3,063	2,265
短期借入金	15,216	19,938
未払法人税等	1,359	1,549
賞与引当金	3,247	2,315
その他の引当金	1,003	947
その他	17,992	19,326
流動負債合計	51,741	56,827
固定負債		
長期借入金	22,949	20,254
引当金	335	338
退職給付に係る負債	6,689	6,725
その他	4,245	3,828
固定負債合計	34,218	31,146
負債合計	85,959	87,974
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,490	10,490
資本剰余金	11,827	11,827
利益剰余金	84,587	85,020
自己株式	△7,183	△6,895
株主資本合計	99,722	100,443
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,064	1,066
為替換算調整勘定	22,463	24,354
退職給付に係る調整累計額	9,811	9,562
その他の包括利益累計額合計	33,340	34,983
非支配株主持分	9,558	10,226
純資産合計	142,621	145,653
負債純資産合計	228,581	233,627

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
売上高	42,489	47,787
売上原価	31,879	34,828
売上総利益	10,609	12,958
販売費及び一般管理費	7,611	8,735
営業利益	2,998	4,222
営業外収益		
受取利息	101	112
受取配当金	12	14
持分法による投資利益	741	1,274
為替差益	—	150
その他	261	189
営業外収益合計	1,116	1,741
営業外費用		
支払利息	141	168
為替差損	25	—
その他	19	22
営業外費用合計	187	191
経常利益	3,927	5,772
特別利益		
固定資産売却益	2	2
特別利益合計	2	2
特別損失		
固定資産除却損	1	11
特別損失合計	1	11
税金等調整前四半期純利益	3,929	5,763
法人税等	791	1,579
四半期純利益	3,137	4,183
非支配株主に帰属する四半期純利益	543	744
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,593	3,439

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	3,137	4,183
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	100	△0
為替換算調整勘定	1,360	1,619
退職給付に係る調整額	△95	△246
持分法適用会社に対する持分相当額	540	323
その他の包括利益合計	1,906	1,696
四半期包括利益	5,043	5,879
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,572	5,083
非支配株主に係る四半期包括利益	470	796

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	2,566百万円	2,695百万円
のれんの償却額	36	5

(セグメント情報等の注記)

Ⅰ 前第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	自動車・ 建設機械業 界向け事業	一般産業 機械業界 向け事業	半導体 業界向け 事業	船用業界 向け事業	航空宇宙 業界向け 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高								
外部顧客への売上高	22,797	9,058	3,697	4,807	2,127	42,489	—	42,489
セグメント間の内部売上高 又は振替高	36	58	—	0	—	95	△95	—
計	22,833	9,117	3,697	4,807	2,127	42,584	△95	42,489
セグメント利益又は損失（△）	628	1,070	△316	1,514	91	2,988	9	2,998

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額9百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	自動車・ 建設機械業 界向け事業	一般産業 機械業界 向け事業	半導体 業界向け 事業	船用業界 向け事業	航空宇宙 業界向け 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高								
外部顧客への売上高	23,019	10,675	5,869	5,469	2,753	47,787	—	47,787
セグメント間の内部売上高 又は振替高	45	69	134	0	—	249	△249	—
計	23,064	10,744	6,004	5,469	2,753	48,036	△249	47,787
セグメント利益	362	1,801	448	1,349	272	4,234	△11	4,222

(注) 1. セグメント利益の調整額△11百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。